

第78号

し ら さ ぎ

近況所感

丹後大宮福祉会
理事長 吉岡 一 男

月日の経つのは早いもので理事長をお引受けして早二年数ヶ月となりました。丹後大宮福祉会には二つの施設があり、特にあゆみが丘学園に於いては、新法人の発足以来色々問題がありました。理事会と保護者会、職員の皆様と法人運営につきお互いに心を開いて再三話し合いを持って参りました。一時は「分離独立」を要請されて居ましたが、過去の不信感やわだかまりが解消され、保護者会や職員の皆様からもご理解を頂き、「分離独立」の白紙撤回を本年一月の理事会で決議させて頂きました。その結果、従来通り丹後大宮福祉会で二つの施設を運営することとなりました。元々あゆみが丘学園は永い歴史の中で立派に運営されて居りました。学園内が何か明るく楽しい職場としての空気にみだされていない様に思われ、事ある毎に、学園は職員、保護者会が一つになって園生の幸せのため明るく豊かな施設であって欲しいと思いい、皆様にお願ひして参りました。

しかし、時代は年々学園に於いても、福祉に対する施策がきびしくなつて参りました。従来のような措置法の時代と変つて、自立支援法が施行され、又「障害者総合福祉法」の様

な法案が出されようとしております。福祉に対するきびしい法律が出来る中で当学園に於いても、事務関係者も事務がついて行けないことも出て来た様に思えました。僅かなことでも、園生の皆さんや職員の方々に不利な面が無い様に大事な職場での「人身一心」も必要と思つて居りました。その後の経過の中で、見違える様な風通しの良い「明るいなごやかな職場」となった様に思われます。此の際に学園担当理事でありました石河良一郎理事を学園の事務長としてお世話になりました。法人と学園の職員・保護者会とのパイプ役になつて頂き、より良いあゆみが丘学園となり、保護者会の皆さんから常に言われて居ります園生にとり安心安全で楽しい学園となりますことを願つて居ります。安心安全には、気持の問題の外、大事な施設整備の問題もあり、先ず火災等の関係でスプリンクラーを早期に実現させねばなりません。現在関係行政にもお願いを致して居ります通り、まだ多少の日数も掛かると思われますが、一日でも早く実現するべく努力して居るところです。

関係者の皆様に実現に対するご理解を賜わり、安心出来る良い学園となります様ご協力をお願い致します。現在学園も藤村施設長を始め職員の皆さんが丸となって日々頑張つて頂いております。厳しく難しい時代の中ですが、行政を始め保護者会・関係機関の皆様があゆみが丘学園に対してのご理解とご協力を今後共切にお願ひ申し上げます。学園の近況所感といたします。

みんなで大阪へ外出

更生部長 上羽 行直



去る六月二十五日バス遠足で海遊館へ行って、初夏の大阪を満喫してきました。昨年は新型インフルエンザの煽りを受け、当年も外出を控えましたので、本年度の実施となりました。毎年バス遠足を楽しみにしていた園生さんにとっては、昨年のバス遠足がなかっただけに、その喜びは一入だったのではないのでしょうか。

朝七時三十分には学園を出発し、車中で朝食、天保山で昼食をとって、その後グループに分かれて海遊館でジンベエザメを見たり、周辺の散策を楽しんだりしました。帰園が大阪の周辺道路が混雑していたため予定より遅くなりましたが、ゆっくりした時間を持てたと思います。

車椅子の方も大勢行かれて、皆で外出する喜びをわかちあえましたが、いろんな配慮をしても皆さんが満足するには限界があることも感じました。

しかし、来年度もバス遠足を楽しみにしている園生さんのためにも、何らかの工夫をしていきながら実施していきたいと思っ



平成二十二年度 保護者会総会で...

保護者会長 服部 仁

毎日、猛暑が続く、うだるような暑さで、熱波が襲ってきます。今年は極端な異常気象で連日報道機関は高齢者などへ注意を促しています。皆様も熱中症にはくれぐれも留意されたいと思います。さて、保護者の皆様には、平成二十二年度の総会には、多数のご出席を頂き、有難うございました。これは皆様が分離、独立問題に関心を寄せられた賜物だと感謝しています。平成十八年から始まって、四年間学園内がぎくしゃくした雰囲気、気まずい思いをされた事への反省と、陳謝の気持ちで一杯です。しかしながら、時の経つのは早いものですが、悪戯の改革と言う以上に大きいものを会得したと言う達成感に役員会は沸いております。今思えばお家騒動に巻き込まれたかに思えてなりません。このことは談義として後々まで語り継がれることでしょうか。退職された元職員には長きに亘り、園生処遇の為に御尽力頂きましたが、こんな結果で終止符を打つことは残念です。それと引き換えに今春からの一連の措置は学園の歴史の変革に繋がるものと確信しています。

心機一転、新しい藤村施設長のもと、これからは学園の黎明を告げる道程だと期待しています。これまで中止していた、施設研修も新たに加え、職員も新法に向けた勉強を修得していただき、より一層切磋琢磨して園生処遇に貢献していただきますようお願いいたします。



飯盒炊飯を終えて

調理主任 田崎聡美

長く降り続いた雨の季節も、ようやく終わりを告げ、暑い夏がやって来ました。ところで、今年の長雨等、全く予想もつかない程の晴天に恵まれた、六月十一日、あゆみが丘学園年間行事の一つである、飯盒炊飯が行われました。いくつかのグループに分かれて、カレーライスを作りました。

お米を研ぐ、野菜の皮をむく、切る、炒める、煮込む...。これらの作業を、グループ毎に、園生の皆さんと一緒に、おいしく頂く事ができました。毎日、厨房の中を忙しく動き回り、日々の業務に追われている私達調理員ですが、もう一度、原点に戻ってみる事も大切な事だと、改めて感じた一日でした。

「初心 忘るるべからず」今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。



自然いっぱい 元気いっぱい 笑顔いっぱい あゆみが丘学園

華頂短期大学 東 実希

私が思うあゆみが丘学園は自然いっぱい、元気いっぱい、笑顔いっぱい、いっぱいがそろった施設でした。最初は緊張していたのですが、学園の玄関に入った時園生の皆さんが笑顔で出迎え、話しかけてくれ緊張していたのがすくほぐれました。皆さんと話をするととても楽しくて毎日笑ってばかりでした。話をすると、好きな歌手や食べ物などたくさん知ることができ、とても嬉しかったです。飯盒炊飯では、玉入れゲームをしたりとても楽しかったです。カレーもとてもおいしかったです。10日間という短い期間でしたがとても楽しかったです。体に気をつけて過ごして下さい。10日間ありがとうございました。

華頂短期大学 清水 千秋

私は実習の始まる前は、一体どういう活動をするのか、園生の方や職員の方々は、どんな人だろうかと不安と楽しみでいっぱいでした。あゆみが丘学園に着き館内に入って一番最初に出迎えてくれたのが、園生の方の温かい笑顔でした。私から話しかける前に「こんにちは」と挨拶して下さいました。活動や作業で分からないことが有ると、色々と教えて下さって、とても温かい気持ちになっていきました。

また、園生の方以外に職員の先生方も、気後れをしないように砕けた言葉で接して下さい何に對しても、気を遣って頂きました。職員の先生方は、園生の方々に對しても分け隔てなく接し、注意すべき時に注意をし、園生の方々と体と体でふれ合うコミュニケーションを取り、温かい愛情の有る支援をしておられました。

華頂短期大学 村上 志穂

一 番初めにあゆみが丘学園に来た時、園生の皆さんが笑顔で出迎えて下さりとても嬉しかったです。行った事のない場所に行くというのは、とても不安でしたが、園生さんや職員の皆さんが温かかったので安心しました。

実習が始まり何日かは、園生さんの名前も数人しか覚えられず、一人一人の趣味や好きなものも分からなかったのですが、10日間の中で職員の方に教えてもらった園生さんに話を聞かせてもらっているうちに、少しずつですが知ることができ、皆さん趣味や好きなことを持つていて個性豊かだと感じました。

10日間では、園生さん全員を詳しく知ることはできませんでしたが、しかし、作業やホーム活動で私が質問したり、分からない事があると教えてくれたり、喋った事がない人も日に日に笑顔を見せてくれるようになり、園生さんと関わる事がとても楽しかったです。10日間ありがとうございました。

六月七日より実習に入って頂いた華頂短期大学の三人の方に感想を頂戴しました。(編集部) 福祉実習、お疲れ様でした。

お知らせ

- 《退園者》
 - ◎吉田幸枝さんが七月二十三日をもって退園されました。
 - 《お願い》
 - ◎四月から古紙回収(新聞雑誌ダンボール)に大宮第三小学校区各集落を第一、第三の木曜日午前中に巡回しています。ご協力下さい。
 - 《新職員》
 - ◎細川明代さんに五月一日より事務員をお世話になってます。
 - ◎荒田ルミ子さんに六月十四日より調理員をお世話になってます。
 - 《退職者》
 - ◎岡田朋子さんが四月末日をもって退職されました。
 - ◎高野玲子さんが四月末日をもって退職されました。
 - ◎柿本茂子さんが四月末日をもって退職されました。
 - ◎三木由理子さんが七月末日をもって退職されました。
 - 《職員異動》
 - ◎三木由理子さん退職に伴い、牧野武範さんがすみれホームホーム長になりました。
 - ◎上田澄代さんが六月から厨房調理員より、かえでホーム担当になりました。
 - ◎安里仁美さんが五月からすみれホーム担当より、こすもすホームホーム長になりました。
 - ◎永岡朋美さんが五月からこすもす担当より指導主任・たんぼぼホームホーム長になりました。
 - 《ご挨拶》
 - ◎この度、一身上の都合により学園を離れる事になりました。十一年間という長かった様に短い間でしたが学園の様々なことに携わることが出来本当に楽しい日が過ごせました。皆さんには感謝しています。本当にありがとうございました。

三木由理子

貸借対照表 平成22年3月31日現在

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	136,306,427	流動負債	5,787,199
現金預金	88,411,841	未払金	4,955,987
未収金	47,583,874	預り金	831,212
仮払金	310,712		
固定資産	611,194,097	固定負債	71,880,346
基本財産	415,857,134	設備資金借入金	15,000,000
建物	310,092,912	退職給与引当金	56,880,346
建物附属設備	2,790,915	負債の部合計	77,667,545
土地	102,973,307		
その他の固定資産	195,336,963		
建物	32,506,330		
建物附属設備	7,491,514		
構築物	22,375,785		
機械及び装置	2,290,343		
車輛運搬具	3,124,718		
器具及び備品	4,038,590		
権利	348,671		
ソフトウェア	353,535		
退職共済預け金	30,473,767		
移行時特別積立預金	92,000,000		
長期前払費用	333,710		
資産の部合計	747,500,524	負債及び純資産の部合計	747,500,524

〔脚注〕 1 減価償却費の累計額 374,397,286円

〔注記〕 1 重要な会計方針

(1) 退職給与引当金の計上基準 職員の退職に備えるため、財団法人京都府民間社会福祉施設職員共済会の退職金要支給額一覧表に基づき計上している。



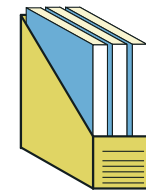
資金収支計算書 (自)平成21年4月1日(至)平成22年3月31日

勘定科目		決算
経常活動による収支	収入	
	自立支援費等収入	270,624,281
	経常経費補助金収入	3,501,368
	寄附金収入	1,771,000
	雑収入	11,382,872
	借入金利息補助金収入	551,250
	受取利息配当金収入	479,370
	経常収入計(1)	288,310,141
	支出	
	人件費支出	189,722,387
事務費支出	17,122,684	
事業費支出	48,566,705	
借入金利息支出	551,250	
経理区分間繰入金支出	259,898	
経常支出計(2)	256,222,924	
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	32,087,217	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
	固定資産取得支出	404,250
財務活動による収支	収入	
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	積立預金取崩収入	58,890
	その他の収入	5,039,600
	財務収入計(7)	7,598,490
	支出	
	借入金元金償還金支出	2,500,000
	その他の支出	3,248,148
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,850,342	
予備費(10)		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	33,533,309	
前期末支払資金残高(12)	96,985,919	
当期末支払資金残高(11)+(12)	130,519,228	



事業活動収支計算書 (自)平成21年4月1日(至)平成22年3月31日

勘定科目		本年度決算
事業活動収支の部	収入	
	自立支援費等収入	270,624,281
	利用料収入	0
	経常経費補助金収入	3,501,368
	寄附金収入	1,771,000
	雑収入	11,382,872
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	引当金戻入	11,866,336
	国庫補助金等特別積立金取崩額	9,267,710
	事業活動収入計(1)	310,913,567
支出		
人件費支出	189,722,387	
事務費支出	17,122,684	
事業費支出	48,566,705	
減価償却費	20,579,462	
引当金繰入	2,946,444	
事業活動支出計(2)	278,937,682	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	31,975,885	
事業活動外収支の部	収入	
	借入金利息補助金収入	551,250
	受取利息配当金収入	479,370
	事業活動外収入計(4)	1,030,620
支出		
借入金利息支出	551,250	
経理区分間繰入金支出	259,898	
事業活動外支出計(5)	811,148	
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	219,472	
経常収支差額(7)=(3)+(6)	32,195,357	
特別収支の部	収入	
	特別収入計(8)	0
	支出	
特別支出計(9)	0	
特別収支差額(10)=(8)-(9)	0	
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	32,195,357	
前期繰越活動収支差額(12)	94,367,298	
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	126,562,655	
繰越活動収支差額の部	基本金取崩額(14)	0
	基本金組入額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	0
	その他の積立金積立額(17)	0
	次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	126,562,655



事務だより

平成二十二年四月一日

平成二十二年七月十七日

【寄 贈】4月18日(延利)笹岡儀和様、21日(延利)上川有田夫様、22日(延利)上川静代様、5月11日(久住)水口組様、6月10日(峰山町)なかやま寝装様、12日(丹後町)吉岡満す代氏 姉上様、28日(久住)岡田のりこ様、7月2日(宮津市)藤田進様、7日(三坂)安里政男様、13日(峰山町)エール様、14日(大宮町)丹後大宮ゆう薬局様、15日(峰山町)峰山町10区様

【寄 附】広瀬梱包運輸株式会社様、あゆみが丘学園保護者会様

リサイクル作業



アルミ缶 銅線、ペルマート、古紙回収
ご協力ください

平成二十二年四月一日
平成二十二年七月三十一日(敬称略)

安達電気、安達陽一、明田地区の皆さん、芦田梢恵、遊区、安達酒店、掛津区観光部、池田勝信、五十河地区の皆さん、五十嵐商店、生野電気、井丈商店、今西久野、今西洋服店、井上五朗、稲岡靖子、芋野地区の皆さん、糸井泉、石河(有)、糸井初美、いととめ・EAT店、和泉登喜雄、和泉秀雄、井野建設、井上義昭、今井好子、今井久男、梅田歯科医院、梅田辰行、梅田高志、梅田徳五郎、上田ひとみ、えびす電気工事店、エナジールランド大宮、エルクラブ、オ

オミヤ、岡島三協製作所、オキノ電機、荻野志功、尾江充洋、大江純一、大江仙治、大木熙一、岡田喜美子、大宮南保育所、大宮第三小学校、奥田務、おしほり店田村、岡田福治、岡田嘉則、大河一夫、大西勲、大西一子、金子産業(株)、柿本春恵、勝岡修、河島食料品店、川村義一、菊岡義和、木崎弥生、喫茶、お茶のみ友だち、京キユウ、楠田電気、口大野保育所、グランリゾート天橋立、(株)興和、小牧英次郎、小池食料品店、河野哲朗、小笹ふさ子、小克酒店、後藤鉄工所、小牧功、コマキデンキ、小牧義正、米トウタイル、小林秀樹、小西デンキ、サニーマイランド、山翠園、笹岡昭義、笹岡儀和、佐藤勝、柴原商店、下川源太、四方秀夫、シルクロード、シラキ、白杉寅雄、獅子崎益二、尉ヶ畑地区の皆さん、城下克明、諏訪部英美子、諏訪部秀雄、末次電気商会、隅倉住建、大道菓子店、館保弘、大同宏子、大同政守、大同敏剛、田上住与、田崎書店、田中博久、田中恵、谷口廣、谷次義則、玉木明司、田村ます美、壇野一義、玉岡商店、丹後生糸、辻翔平、香奈、でんき館やました、豊田定夫、藤右衛門、富田建築、トマトアンドオニオン峰山店、中江美晴、中尾文雄、長尾道雄、中川貞治、中川利昭、永島茂樹、永濱功、中村保徳、中村しんや、永井清志、新田良文、西田建設、橋本耕二郎、番場電気商会、萩原誠、畑中酒店、服部仁、日達利雄、平井建材、平林かよ子、平林善一、平井電気、広野清孝、フルーツ王国やさか、フリーク、堀鉄工所、堀敏雄、堀

保彦、廣吉、堀義行、ホリロク(株)、増鍊工業(株)、まるぜん書店野田川店、加悦店、マジカル、丸中観光バス、松崎幹一、水口進、水口組、宮尾倍行、三浦艶子、三重地区の皆さん、峰山鉄工所、椋平登美江、森重俊、森岡伸行、森本地区の皆さん、山下初乃、山中信子、山本敏彦、山本京子、ヤマモト電化サービス、矢野一城、矢野宇一、矢野幸子、矢野辰雄、矢野博、由利徳七、由利家電サービス、吉田電気工業、義村商店、由村明人、横田悦子、吉岡設備(株)、吉岡電気商会、吉岡典子、吉沢地区の皆さん、吉岡商店、吉村食料品店(株)ローソン大宮町周枳店

個人情報保護法制定に伴いお世話になった方々の地区名は遠慮させていただきました。

編集後記

身体は芯まで湿気を帯びて一枚一枚に厚着をしたような不快指数青天井な梅雨が、長雨の形容の通りに幾日も幾日も続いていましたので、もう永久に青空は戻って来ないものと観念しようとしていたところ、一天空は掻き曇りの逆に、京の都の祇園祭のお囃子に誘われて前線が急速北上して、一気に阿成に猛暑と酷暑と極暑を三重苦に陥ってしまいました。連日日本のどこかで記録を更新しているようで、斯くの如くのV字回復もまた迷惑千万なことです。

天網恢恢疎にして漏らさず。折角祇園祭同様に牝鶏の権化を剪除して厄払いを済ませたのに、自身が疲弊に沈むのでは何の事かと思つて仕舞います。

地上で力尽きた蟬の幼虫やミミズをよく目にします。蟬の鳴き声も今は時雨には程遠いようです。熱中症や脱水に留意して、木陰の涼や水分、塩分という自然との対話を欠かすことなく、夏の暑さにもマケず、夏の酷暑にも、夏の青さにもマケないで秋分の秋立つ頃を全員元気旺盛に迎えたいものだと思っています。(磯竹生)